

報道関係者各位

平成 21 年 8 月 10 日

## 学術啓発・支援活動を推進 皮膚科医向けに 11 月の国際学会で

株式会社ファンケルは、総合研究所 安全性品質研究センター及び学術研究室を中心として、「安心・安全」な化粧品の研究開発のさらなる基盤技術構築に向け、11 月 5 日から 8 日に京都にて開催される「三学会合同・皮膚アレルギー・環境職業皮膚科学国際会議（\*1）」への協賛や皮膚科医による患者向け試供サンプルの提供を開始するなど、化粧品事業においても医療分野への学術啓発活動を積極的に行ってまいります。当社では、このような学術活動を通して、研究開発の基盤技術構築とともに、当社の化粧品製品の医療現場での認知と信頼性の向上も目指してまいります。

### 創業以来続く、肌トラブルのリスクを最大限排除した化粧品開発

当社は創業以来、安心安全やさしさを原点とした研究開発を理念としており、肌のバリア機能が低下し、外的刺激を受けやすい肌の方のため、スキンケアにより肌を刺激から守る機能の重要性に着目した研究開発を進めてまいりました。その結果、外的刺激を抑える刺激ブロック効果と保湿性に優れた新成分の開発に成功し、今年 5 月には、同成分を配合した「無添加 FDR シリーズ」をリニューアル発売するなど、化粧品成分による肌トラブルのリスクを最大限排除した化粧品開発を進めております。

### 11 月に「皮膚アレルギー・環境職業皮膚科学国際会議」へ協賛

この度、当社では、化粧品や化学物質による接触皮膚炎などの国際的な議論の場をサポートしたいと考え、2009 年 11 月 5 日から 8 日に京都にて開催される「三学会合同・皮膚アレルギー・環境職業皮膚科学国際会議（\*1）」において、協賛支援を行います。なかでも、11 月 5 日に開催される国際ワークショップ（International Workshop on Skin Safety Evaluation of Cosmetics and Chemicals: From Genetics, Alternatives and Human Testing）（\*2）は、EU、米国、日本の化粧品メーカーの研究者、皮膚科医、そして行政から専門家が集い、化粧品とその原料となる化学物質の安全性について議論する場となります。このような、日常生活において起こりえる皮膚トラブルのリスクを避けるための議論を臨床医を含めて意見交換できるシンポジウムは大変貴重な機会であり、ファンケルが創業以来こだわり続けてきた安心安全やさしさの研究を発展できる場として、支援すべき分野と考えています

また、ファンケルでは、本学会において、企業展示ブースも設け、「無添加 FDR シリーズ」について皮膚科医への学術啓発活動も行う予定です。

（株）ファンケル

本社：神奈川県横浜市中区山下町 89-1

代表取締役社長執行役員：成松義文

設立：1981 年 8 月

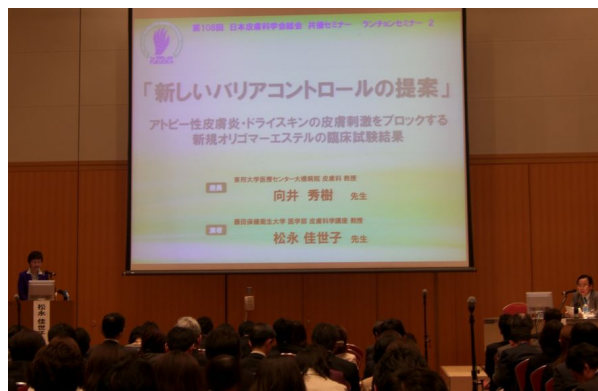
連結売上高：980 億円（平成 21 年 3 月期）

本件に関するお問い合わせ

広報グループ 油井紀理子：045-226-1230

## 皮膚科医にむけた研究成果発表

「無添加 FDR シリーズ」の刺激ブロック効果については、既に、第 104 回 日本皮膚科学会総会年次大会 スポンサーセミナーの場で、藤田保健衛生大学医学部皮膚科講座教授・同病院副院長 松永佳世子教授を演者に、また、東邦大学医療センター大橋病院 向井秀樹教授を座長として、皮膚科医に向けた研究成果発表を実施いたしました。(2009 年 4 月 24 日 福岡市 演題「新しいバリアコントロールの提案 ～アトピー性皮膚炎・ドライスキンの皮膚刺激をブ



ロックする新規オリゴマーエステルの臨床試験結果～) 外界からの刺激をブロックするという画期的な「無添加 FDR シリーズ」の考え方は、皮膚科医の立場からも大変興味のある製品として、多くの皮膚科医の先生方に聴講いただきました(写真)。皮膚科医の先生方にアンケートにご回答いただいたところ、140 名の皮膚科医のうち 90%が患者様に保湿剤の併用を推奨しており、60%が化粧品サンプルを患者様に治療の補助として渡している、ということがわかりました。このように、治療の現場において皮膚科医からも患者からも高いニーズのある、「安全性が高く、刺激がなく、治療をさまたげることなく使用できる保湿用製剤」のひとつとして、皮膚科医から患者さまにご紹介いただけるよう、当社では、6 月より一部皮膚科施設において、FDR シリーズの患者様向け試供サンプルのご提供を始めました。

今後も当社では、積極的に医療分野への学術活動を進め、当社の研究開発の基盤技術構築とともに、当社製品の医療現場での認知と信頼性の向上も目指してまいります。

### 【 補足説明 】

\*1・・・「三学会合同・皮膚アレルギー・環境職業皮膚科学国際会議」

第 39 回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会(会長 産業医科大学皮膚科学教室 戸倉 新樹教授)、第 10 回アジア太平洋環境職業皮膚科学シンポジウム及び第 17 回国際接触皮膚炎シンポジウム(会長 藤田保健衛生大学医学部皮膚科学教室 松永 佳世子教授) の合同開催。 Website;<http://www.cs-oto.com/jsdcd39/>

\*2・・・「International Workshop on Skin Safety Evaluation of Cosmetics and Chemicals: From Genetics, Alternatives and Human Testing」 Website;[http://www.cs-oto.com/icds\\_apeods/](http://www.cs-oto.com/icds_apeods/)

**本件に関するお問合せ先**

**株式会社ファンケル**

広報グループ：油井紀理子

〒231-8528 横浜市中区山下町 89-1

TEL.045-226-1230/FAX.045-226-1202